

第2次岸田再改造内閣

第2次岸田再改造内閣が発足しましたが、政権移行にはならないばかりか、閣内閣員間の「政治とカネ」の問題が噴出しています。多くは、企業・団体献金と政党助成金（税金）を「重取りする」財源となっている、みずからが支部長を務める政党支部をめぐってのもの。

その政治資金収支報告書で、政党交付金使途等報告書（いずれも2021年分）を点検してみると

政治考

公選法違反の献金

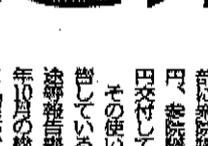
選挙区自治会連合会（衆院）と広野文雄議員（衆院）の「政治とカネ」の問題が噴出しています。多くは、企業・団体献金と政党助成金（税金）を「重取りする」財源となっている、みずからが支部長を務める政党支部をめぐってのもの。

その政治資金収支報告書で、政党交付金使途等報告書（いずれも2021年分）を点検してみると

閣内閣員間の「政治とカネ」の問題が噴出しています。多くは、企業・団体献金と政党助成金（税金）を「重取りする」財源となっている、みずからが支部長を務める政党支部をめぐってのもの。

その政治資金収支報告書で、政党交付金使途等報告書（いずれも2021年分）を点検してみると

内閣改造後、発覚した閣僚・自民党役員らの「政治とカネ」

小淵優子 選対委員長①	元秘書が取締役の会社に事務所賃貸約2200万円。国の公共事業を請け負っていた業者から10万円	
秋生田光一 政調会長②	国の公共事業を請け負っていた業者から130万円	
高市早苗 経済安保相③	国の公共事業を請け負っていた業者から50万円。党本部から受けた支部交付金150万円を不記載	
宮下一郎 農林水産相	開発注工事を受注した建設会社から9万円	
西村康徳 経済産業相	贈と取引があった医療法人から10万円	
岸田文雄 首相④	元広島県柔道整復師連盟支部からの10万円を不記載	

「政治とカネ」噴出

「選挙対策費」として自らに寄付（500万円以上）

宮下一郎農林水産相	1500万円
森山裕総務会長	1500万円
盛山正仁文部科学相	1117万810円
高木毅国対委員長	1100万円
高市早苗経済安保相	1076万3391円
小淵優子選対委員長	1000万円
西銘恒三郎幹事長代理	1000万円
上川陽子外相	996万9599円
福田朋英幹事長代理	900万円
林幹雄総務局長	895万円
新藤兼孝経済再生相	810万円
加藤紘子子ども担当相	800万円
西村康徳経済産業相	783万3355円
鈴木淳司総務相	638万3524円
土屋品子復興相	598万2212円
岸田文雄首相	500万円
伊藤信太郎環境相	500万円

①② 政党交付金使途等報告書（2021年分）で77%

いわば税金私物化

自民党は、国庫の税金で、のびのびと暮らしている。いわば税金の私物化です。その使途を各支部が報告している「政党交付金使途等報告書」によると、同年10月の総選挙公示日前後「選挙対策費」として、宮下早苗相、森山裕総務会長（衆院議員4区）の1500万円を筆頭に多数の閣僚を筆頭に本人に寄付している例が目立ちます。（右表）

その額は、麻生太郎副総裁（衆院議員8区）570万円、改木敏夫幹事長（衆院議員3区）407.6万円、岸田文雄首相400万円、森山裕総務会長311万円、河野洋二郎（衆院議員4区、河野アサヒ）278万円、河野太郎（衆院議員15区）278万円、政調助成金の「重取り」が続いているのが、この報告書から読み取れます。

党員ゼロ 政党支部

政党支部は、企業・団体献金を主な収入源として、党員ゼロの状態で活動している。その数は、宮下早苗相（衆院議員4区）の1500万円を筆頭に多数の閣僚を筆頭に本人に寄付している例が目立ちます。（右表）

その額は、麻生太郎副総裁（衆院議員8区）570万円、改木敏夫幹事長（衆院議員3区）407.6万円、岸田文雄首相400万円、森山裕総務会長311万円、河野洋二郎（衆院議員4区、河野アサヒ）278万円、河野太郎（衆院議員15区）278万円、政調助成金の「重取り」が続いているのが、この報告書から読み取れます。

企業・団体献金と政党助成金「二重取り」

日本共産党 金権腐敗根絶へ法案

日本共産党国会議員団は、昨年5月29日、政治をカネの方でゆがめる企業・団体献金、形を変えた企業・団体献金であるパーティー券購入の全面禁止を求めた法案を提出しました。同年2月4日には、恩恵の自由に反する政党助成金の廃止法案を提出しています。

企業・団体献金の全面禁止と政党助成制度の廃止を一体で行うことが、金権腐敗政治を根絶する道です。

土屋復興相、新藤兼孝経済再生相（衆院議員2区）、自民党子地方創生・沖縄北方相（衆院議員1区）も同様です。

党員ゼロの政党支部をめぐって、企業・団体献金を取り戻す財源としているのです。